

就職準備 2 年課程

到達目標

本課程では、実社会において信頼される日本語運用力と対話力を育成するとともに、多様な価値観や文化的背景をもつ人々と協働しながら、自ら課題を発見し、柔軟かつ主体的に行動できる実践的な力を養うことを目指し、以下の到達目標を設定する。

1. CEFR B2（Step11）相当の日本語能力を有すること

- ・ 職場内外のやりとりや説明・相談・交渉などに対応できる
- ・ 目的や状況に応じて自分の意見や意図を的確に伝え、相手と円滑にコミュニケーションをとることができる
- ・ 多文化環境において、立場や背景に配慮しながら協働し、信頼関係を築くことができる

2. 就業・キャリア形成に向けて主体的に行動できること

- ・ 業種や職種に関する情報を主体的に収集・整理し、自らの目標に合った選択ができる
- ・ 社会人としての役割や責任を理解し、継続的に学びながらキャリアを切り拓くことができる

対象

就職を目的として来日する大卒以上の者で、A1（JLPT N5 程度）相当の日本語能力を有している者。

科目概要

日本語総合	読むこと、聞くこと、話すこと（発表・やり取り）、書くことの5つの言語活動を通して、専門的な講義の理解や論理的な意見の主張など、日本語の運用力を養う科目です。
キャリア形成	学習状況の振り返りと計画調整を行いながら、面接マナーや基本応答の習得、模擬面接と自己評価を重ねることで、自身の考えや強みを落ち着いて伝える実践的な面接対応力を養う科目です。
多文化共生	他者との話し合いを通じて、異なる視点を受け入れながら主体的に問いを立て、自身の考えを深めて表現する力を養う科目です。
働くための日本語	取引先との日程調整や進捗報告、業務フローの図式化といった実務的な運用力に加え、ニュースの分析や比較検討を通して社会問題を多角的に理解し、数字や事例などの根拠をもとに意見を交わす論理的なコミュニケーション力を養う科目です。
試験対策	JLPT（日本語能力試験）の問題演習を通して、高レベルな語彙・文法の習得や複雑な文章・音声の解読力を身につけ、試験の出題形式に応じた解答テクニックを習得する科目です。